

京都の森づくり対談 ～蝶の舞う森づくり～



(C) 藤井 恒

村田 泰隆 氏

㈱村田製作所代表取締役社長

日高 敏隆 氏

京都モデルフォレスト協会副理事長

日時：平成19年5月31日（木）、15：10～16：00

場所：ルビノ京都堀川・みやこ

写真：京都府レッドデータブックから

社団法人京都モデルフォレスト協会では、多くの府民の皆さんや企業・団体の方々に参加いただき、府民ぐるみの森づくりを進めています。地域の豊かな水源を守る命の森、京都の伝統行事を支える文化の森、子供たちの環境学習や自然体験ができる学びの森……。みんなで合意形成を図りながら多様な森林づくりを進めるためには、何が必要でしょうか。

対談では、『蝶』をキーワードに、生物の多様性など森林のさまざまな働きについて語り合ってください。



村田 泰隆(むらた・やすたか)氏 ㈱村田製作所代表取締役社長

1947年京都市生れ。ニューヨーク大数理統計学科卒。1973年村田製作所入社、91年社長就任。現在、電子情報技術産業協会電子部品部会長、京都経済同友会代表幹事。趣味は、蝶の研究とクラシック音楽鑑賞。日本蝶類学会理事、日本昆虫協会理事、日本鱗翅学会会員、日本自然科学写真協会会員。



日高 敏隆(ひだか・としか)氏 京都モデルフォレスト協会副理事長、京都精華大学客員教授

1930年東京都生れ。東京大学理学部動物学科卒業。東京農工大学教授、京都大学理学部教授、同大学理学部長、滋賀県立大学初代学長を経て、3月まで総合地球環境学研究所初代所長。

専門は動物行動学で、1982年日本動物行動学会を設立。『チョウはなぜ飛ぶか』、『春の数えかた』（2002年第50回日本エッセイストクラブ賞 受賞）、『動物と人間の世界認識』、『人間はどこまで動物か』、『人間は遺伝か環境か』等著書多数。